

「地域ケア会議」



～住み慣れた地域で安心して暮らしていくために～

地域ケア会議とは・・・

地域ケア会議とは、地域包括ケアシステム実現に向けた手段の一つとして、高齢者に対する支援の充実とともに、それを支える社会基盤の整備を行うことを目的としています。

高齢者の抱える問題から見えてくる「地域の課題の把握」「人と人とのつながり（ネットワーク）の確立と充実」「自分たちの地域でできることは何か」「あったらいいなあと思われる資源」など、各分野のみなさんと一緒に考え、よりよい方法を検討する会議です。

地域ケア会議は、3層に分けて開催しています。

地域ケア会議の種類

会議名: 地域ケア個別会議 ※

主催: 各圏域の地域包括支援センター(裏面を参照)

目的: 個別ケースの課題解決に向けた検討・地域課題の発見・地域のネットワークづくり

参加者: 会議の内容により変わります。

例) ご本人やご家族、介護支援専門員、医療介護福祉サービス関係者、民生委員、近隣住民、町内会、商店街、行政職員等

随時開催



会議名: 地域ケア圏域会議 ※

主催: 各圏域の地域包括支援センター(裏面を参照)

目的: 圏域内関係機関のネットワークづくり・地域での新たな資源づくり

参加者: 想定されるメンバー 町内会役員、地区民生委員、圏域の医療・介護関係職員、社会福祉協議会、行政職員等

年2回程度開催



会議名: 地域ケア推進会議

主催: 苦小牧市

目的: 地域ケア圏域会議であげられた課題の中で、政策形成が必要な内容の整理と検討

参加者: 市内の医療介護福祉機関 24団体

年2回程度開催

※ 地域包括支援センターから、会議への参加依頼等がありましたら御協力をお願いします。